

投稿規定

Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) は、福井県およびその近県の自然科学および自然保護に関する原著論文、総説、短報などを掲載する。

- 1) 原稿の用紙と書き方.** 原稿は原則としてスタイル機能を持つワープロソフト (Microsoft Word, WordPerfect, OpenOffice.org Writer など) で原稿を作成し、文書データ交換形式 RTF (Rich Text Format) で投稿することが望ましい。それ以外の場合はテキスト形式を使用し、上付き、ギリシャ文字等のスタイルは別途出力紙に指定する。
- 2) 報文の構成.** 報文は和文でも英文でもかまわない。以下は和文の例であるが、英文の場合もこれに準ずる。原著論文は、「表題」, 「著者名」(右肩に番号を付け、脚注に所属および住所を明記する), 「要約」, 「キーワード」, 「はじめに」, 「調査地と方法」, 「結果」, 「考察」(または「結果と考察」), 「引用文献」の順に書く。総説は、「表題」, 「著者名」, 「キーワード」, 「はじめに」, 「本文」, 「さいごに」, 「引用文献」の順に書く。短報は、「表題」, 「著者名」, 「キーワード」, 「本文」, 「引用文献」の順に書く。
- 3) 自然物の名称, 単位など.** 天体, 岩石などの名称は、カタカナまたは漢字書きとし、動植物および古生物の和名は、カタカナ書きのみとする。学名はイタリック体にするが、できない場合は下線を引いて指定する。計量の単位は、km, m, cm, m² など国際単位系 (SI) を用いる。ただし ha (土地面積), cal (熱量) など、慣習的に用いられており、計量法で規定されている単位は、用途を限定して使用しても良い。
- 4) 引用文献.** 本文中での文献の引用は、著者名 (年号), あるいは (著者名年号) とする。著者が 3 名以上の文献については、第二著者以降について、和文では「…ほか」, 英文では「… et al.」とする。引用文献は、本文中に使用されたものだけに限り、かつ引用されたものすべてを記載する。文献の配列は、言語にかかわらず著者名のアルファベット順とし、同一著者については発表の年代順とする。著者と出版年が同一のものは、年の後にアルファベットを付して区別する。著者が 3 名以上で第一著者・出版年が同じ文献についても、同様に区別する。各文献は次の形式にのっとり、下記の例にならって記載する。

雑誌の場合: 著者名, 発表年, 論文表題, 掲載雑誌名巻: ページ。

例) 福井県自然保護センター. 1998. 渡り鳥保全調査報告 1996 年度-亜高山の鳥類相-. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 7: 1-6.

橋本幸彦・高槻成紀. 1997. ツキノワグマの食性: 総説. *哺乳類科学* 37:1-19.

Beckmann, J.P., Berger, J. 2003. Rapid ecological and behavioural changes in carnivores: the responses of black bears (*Ursus americanus*) to altered food. *Journal of Zoology* 261:207-212.

- ・雑誌名には省略名を用いない。
- ・ページ数に pp. をつけない。
- ・巻数のみ記載し、号は示さなくてよい。ただし、号ごとにページがふってある場合は「巻 (号)」のように括弧内に号数を書く。

書籍の場合: 著者名, 発表年, 表題, 発行所, 発行地。

例) 高野伸二. 1984. 野鳥識別ハンドブック. (財) 日本野鳥の会, 東京。

Odum, E.P. 1971. *Fundamentals of ecology*, 3rd ed. W.B.Saunders, Philadelphia.

イブレフ B.C. 1965. 魚類の栄養生態学 (児玉康雄・吉原友吉訳). たたら書房, 米子。

吉良竜夫 (編). 1960. 生態系と植物共同体の機能. 古今書院, 東京。

- ・書籍情報は、国立国会図書館の蔵書検索システムなどを用いて確認し、正確に記載する。
- ・実際に引用している部分の著者が明らかな場合は、編集書を単独で引用文献とせず、次項のように引用部分の著者を明示する。

書籍の部分引用の場合: 著者名, 発表年, 章 (節) 題, 編著者, 書籍表題, 発行所, 発行地, ページ数。

例) 黒岩澄雄. 1993. 環境論-生物にとって環境とは何か. 太田次郎・石原勝敏・黒岩澄雄・清水 碩・高橋景一・三浦謹一郎 (編) *生物と環境*. 朝倉書店, 東京. pp. 1-11.

Moore, N.W. 1965. Environmental contamination by pesticides. In: Goodman G.T., Edwards, R.W., Lambert, J.M. (eds.) *Ecology and the industrial society*. Blackwell Scientific Publication, Oxford. pp 219-237.

5) 図. 下記の要領で原稿を作成する.

グラフ, 線画, 概略図などの場合 (ベクタ画像)

- ・できるだけベクタ画像のまま投稿する. Portable Document Format (PDF) 形式が望ましいが, Microsoft Word や PowerPoint のファイルも受理できる.
- ・やむを得ずラスタ画像に変換する場合は, 最低 600dpi とし, 可能な限り印刷サイズに近づけて提出する. この場合, 一般的な画像形式 (TIFF, PNG, GIF など) はいずれも受理可能だが, JPEG などの非可逆圧縮形式は避ける.

写真, ビットマップなどの場合 (ラスタ画像)

- ・写真画像とビットマップ画像は, 最低 300dpi とし, 可能な限り印刷サイズに近づけて提出する. 一般的な画像形式 (TIFF, PNG, GIF など) はいずれも受理可能である.
- ・写真でよく用いられる JPEG 形式は非可逆圧縮であるので, 圧縮率によっては十分な印字品質を得られないことがあるので注意すること.

図の大きさ

図の大きさは, 印刷時に幅が 1 段もしくは 2 段になることに留意して決め, 横幅の大きさを指定すること.

6) 表. スタイル指定した原稿の電子ファイル (Microsoft Word, Excel, OpenOffice.org Calc など) と csv 形式の表の両方を送付する.

7) 校正. 原則として初校の校正は著者が行い, 再校以降は, 編集者が行う. 著者校正は, 印刷上の誤りについてのみ行い, 内容の変更は避けるようにする.

8) 別刷. 別刷りは 50 部までは無料で, それ以上は著者の負担とする. 別刷の希望部数は, 校正刷りの第 1 ページの右上に朱記する.

9) 原稿の送り先. 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2
福井県自然保護センター
Tel 0779-67-1655, Fax 0779-67-1656
E-mail sizen-ci@pref.fukui.lg.jp

10) 著作権

- ・投稿された報文の著作権 (著作権法第 21 条複製権および第 28 条公衆送信権に規定される権利) は, 福井県自然保護センターに帰属するものとする.
- ・福井県自然保護センターは, 著作者自身による学術・教育目的での利用 (著作者自身による編集著作物への転載, 掲載, 複写しての配布等を含む) を許諾する. 著作者は, 福井県自然保護センターに許諾申請する必要がない. また, 利用に際しては, 出典 (論文・雑誌名, 号・頁数, 出版年) を記載するものとする.
- ・著作者が所属する機関の機関リポジトリでの公開については, 刊行 1 年後以降に限って無条件で許諾する. 著作者自身および著作者が所属する機関による許諾申請をする必要がない. ただし, 出典は記載するものとする.
- ・第三者から福井県自然保護センターに対し論文等の複製, 翻訳, 公衆送信等の許諾申請があった場合には, 福井県自然保護センターにおいて許諾の決定を行うものとする.

11) その他

- ・投稿のあった原稿のページ数が当該年度に発行する Ciconia の規定ページ数を超える場合, 一部の投稿論文の掲載を次年度以降に延期する場合がある. その場合, 原稿の受領順や分野の偏りなどを考慮し, 福井県自然保護センターの判断で内容を決定する.
- ・Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) の掲載原稿内容は著者の責任とする.
- ・査読制度はないため, 投稿前に専門分野の研究者に原稿の確認を依頼する等, 内容を精査して投稿する.

2024 年 4 月 1 日改訂